



学校だより

教育目標 自主自律 創造性
豊かな心 健やかな身体
校訓 井草魂～自主、不屈の精神、共感・共働の心～

令和 6 年 4 月 26 日

杉並区立井草中学校
校長 田口 克敏

「入学式 式辞」

校長 田口 克敏

季節は着実に移ろいつつあることを桜をはじめとした花々や吹きそよぐ風の中に感じます。本日、ここに杉並区立井草中学校第七十七回入学式が挙行できますことをこころよりうれしく思います。

井草中学校に入学された百八十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。同時に、数ある中学校の中から井草中学校に進学してくれてありがとう。今日から皆さんの新しい一日が始まるとともに、井草中学校にとっても全学年がそろっての新たな一歩がスタートします。

さて、皆さんは小学校の音楽の授業で「オーケストラ」について勉強したことがあると思います。

「オーケストラ」は様々な楽器で編成されていますね。フルート・ヴァイオリン・クラリネット・チェロ・ティンパニーなど、それぞれの楽器の音色は実に多様であり、また同じ楽器でも演奏者が異なると響く音は微妙に違います。このことを皆さんに当てはめて考えると、皆さんは「個性」という楽器を演奏する演奏者である、と考えられます。皆さんには様々な「個性」があります。それはフルートとヴァイオリンを比べてどちらが優れているか、を評価できないように「個性」には優劣も良し悪しもありません。フルートにはフルートの良さや役割があり、ヴァイオリンにはヴァイオリンの良さや役割があります。フルートはヴァイオリンの音は出せませんが、ヴァイオリンに出せない音色をフルートは奏でることができます。皆さんの「個性」は他者と比較する必要はなく、それぞれの「個性」を活かして発揮すれば良いのです。また、オーケストラの中でそれぞれの楽器が、それぞれの役割を認められ果たしているように、皆さんそれぞれに異なる「個性」を互いに認め合うことは大切なことです。

オーケストラの演奏が聴く人を感動させるためには、演奏家の人たちは、たくさんの練習を重ね、良い音色を追究する努力をしています。楽器はただ弾いたり吹いたりしても音は出ますが、やはり良い音を出すためには練習と適切な指導をしてくれる先生が必要です。私は趣味でフルートを吹きますが、少しでも良い音が出せるようレッスンに通いました。フルートは息を吹き込む角度やスピードで、約三オクターブの音域を操りますが、やはり自己流では中々うまくはいきません。楽器の持ち方、姿勢、音の出し方など教室の先生に指導されて何とかそれなりの音を出すことができました。

皆さんの「個性」という楽器が奏でる音が、よりよいものになっていくためには、練習や指導される場が必要です。それが家庭であり学校であり社会です。指導してくれる人は、保護者であり先生であり地域を含めた社会の先輩たちです。学校の友達や上級生もその中に入る場合もあります。ひとりひとり異なる「個性」という楽器が、最大限その力を発揮し人々に感謝や感動を与える演奏ができるようになるためには、日々のたゆまぬ努力や他者の声を素直に受け止めることが必要です。

さらには、異なる「個性」の集合体である学級・学年・学校は、バラバラでまとまりのない状態では何も成し遂げられません。オーケストラの演奏は、それぞれの楽器がその個性を発揮しつつ、指揮者のもとに調和のとれた演奏となって初めて心地よい響きを出すことができます。それぞれの楽器がめいめいに勝手な演奏をしたら、それは「不協和音」となり聴きづらい演奏となります。皆さんがこれから過ごす井草中学校が、ひとりひとりにとって居心地の良いものとなるかならないかの要素のひとつは、皆さんの「個性」が調和のとれた発揮の仕方となるかどうかにかかっています。

どうか、自分のためにも、隣に座っている誰かのためにも、素敵な「個性」へと磨きをかけてほしいと思います。

結びになりましたが、新入生の保護者の皆様、お子様のご入学まことにおめでとうございませう。これからの日々、これまでとは異なる問題や困難にぶつかることが彼らと共に保護者の皆様にもあるかもしれません。中学生は、自我の確立に差し掛かっています。お子様の個性を尊重し、認めるべきことは認めつつ、保護者として伝えるべきことは毅然として伝えていくことが大切です。また「木の上に立って見る」と書く「親」という文字のごとく、適度な距離感も必要となるかもしれません。

この新入生を加え、生徒数五百二名の井草中学校が、素晴らしい上級生たちとともに、また新しく創られていくものと思います。本校は、保護者・地域・学校運営協議会・学校支援本部等、様々な立場の方々と子供たちのより良い学びの環境づくりに取り組んでいただいています。このことをご理解いただき、新入生たちの健やかな成長のために本校教職員一同とともに、連携し協力し合っておりますようお願いいたします。

以上をもちまして式辞といたします。

第77回杉並区立井草中学校入学式

令和6年4月9日

180名の新入生が入学しました



新入生代表の言葉

暖かな春の日差しに包まれ、命が活発に動き始める時、僕たち新入生180名は、井草中学校の入学式を迎えました。本日は僕たちのために素晴らしい式を開いてくださり、本当にありがとうございます。

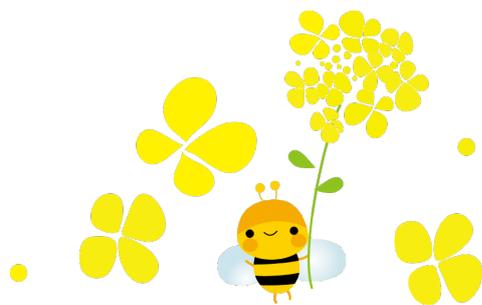
中学生になると、勉強の内容が難しくなったり、部活動が始まったりと、小学校とは違うことが沢山あると思います。それでも、僕は小学校で学んだ「協力する」ことを中学校でも大切にしていきたいです。だから、協力できる仲間を増やすためにも、小学校で友達が「手伝うよ」と声をかけ、荷物を持ってくれたように、今度は自分から声をかけ、友達と仲良くなりたいです。

世界初の実用的電話を発明したアレクサンダー グラハム ベルの「偉大な発見や改革には常に多くの人の知性による協力が不可欠である。」という言葉があります。物事を達成するためには、皆の協力が必要で、逆に協力しないと物事は達成し難いということの意味するのだと思います。僕たちも、これから共に学ぶ井草中学校の仲間たちとの協力を大切に、困難なことも、共に乗り越えていきたいです。しかし、僕たち新入生は分からないことが沢山あります。先生方、先輩方、そしてご来賓並びに地域の皆様、僕たちのことを温かい目で見守り、ご指導くださいますようお願いいたします。

僕たちは、小学校生活の半分しかない中学校での三年間の一日一日を大切に、立派な中学生になれるように努力していきます。

令和6年4月9日

新入生代表



新入生が安心して井草中学校の生活に入れるよう、2.3年生が準備をしてくれました。

<4月11日(木)部活動紹介>
 持ち時間1分45秒で部の魅力を伝えようと、どの部活も工夫をしていました。説明だけでなく、実演やユニフォームの紹介などを入れ、わかりやすく紹介してくれました。トップバッターの野球部は時間ぴったりのプレゼンで、会場から拍手が沸き起こりました!



<4月12日(金)生徒会オリエンテーション>
 生徒会本部役員の生徒が、井草中の日常やルールの紹介をしてくれました。寸劇をしてその場がイメージしやすいように工夫したり、1年生にわかりやすい言葉で説明をしたりしてくれました。挨拶を進んで行う井草中の伝統についても話がありました。



<5月の行事予定>

日	曜	行事
1	水	体力調査始
2	木	教育面談(1組)始
3	金	憲法記念日
4	土	みどりの日
5	日	こどもの日
6	月	振替休日
7	火	危機対応訓練 腎臓検診一次
8	水	内科検診(3年、1組) 腎臓検診一次予備日
9	木	中央委員会 耳鼻科検診(1・2年) 教育面談(1組)終
10	金	英語「話すこと」調査(3年) 内科検診(2年)
11	土	公開授業 情報モラル教室(1年)
12	日	
13	月	全校朝礼 安全指導 教育実習始 歯科検診(2年)
14	火	専門委員会
15	水	内科検診(2年) ⑤前日指導(1年)

日	曜	行事
16	木	フレンドシップスクール(1年)始 耳鼻科検診(3年・1組)
17	金	フレンドシップスクール(1年)終
18	土	
19	日	
20	月	生徒会朝礼 食育の日 歯科検診(1年)
21	火	心臓検診(1年)
22	水	腎臓検診二次
23	木	眼科検診(全) 腎臓検診二次追加回収 放:生徒総会リハーサル
24	金	⑤生徒総会 英語検定 教育実習終(美術)
25	土	
26	日	
27	月	全校朝礼(Teams) 保護者会(1組)
28	火	運動会予行準備
29	水	運動会予行
30	木	中央委員会
31	金	教育実習終(社会) 運動会準備

昨年度末にお知らせしましたとおり、SDGsの観点から学校だよりは今年度よりWEBでの配信とし、印刷物の配布はいたしません。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。